



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月8日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,281	△3.1	305	△16.1	415	79.4	236	102.7
28年3月期第1四半期	10,606	10.6	364	553.8	231	114.0	116	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △366百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 232百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.70	—
28年3月期第1四半期	2.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	52,834	28,638	50.5	644.62
28年3月期	55,244	29,401	49.6	662.46

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 26,682百万円 28年3月期 27,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	7.00	7.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 2円00銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	△2.9	700	△26.9	750	△11.0	400	△15.4	9.66
通期	45,000	△2.5	1,900	△15.7	2,000	0.3	1,600	33.0	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	45,229,332株	28年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	3,836,374株	28年3月期	3,836,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	41,393,049株	28年3月期1Q	41,394,990株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が堅調に推移したものの、中国経済の減速や英国の欧州連合(EU)離脱決定などにより先行きは不透明感が強まりました。

一方、わが国経済は、企業収益・雇用情勢の改善傾向が続きましたが、個人消費の低迷や円高・株安の進行などにより景気回復に足踏みが見られました。

当社グループの主需要先である建設・建築業界では労働力不足による建設工事の遅れ、造船業界・産業機械業界では中国をはじめとして世界的に市況の悪化が見られるなど、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は102億81百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は3億5百万円(同16.1%減)、経常利益は4億15百万円(同79.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億36百万円(同102.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 機械装置

機械装置部門においては、4月に大阪で開催された「2016国際ウエルディングショー」に、定尺ハウジングタイプのファイバーレーザー切断機「FIBERTEC-Zシリーズ」を出展するとともに、「ウエルハンディ ミニ ストロング」や「ウエルバート」などの新型溶接台車にて高品質溶接用混合ガス「スーパーシールド」を用いた実演などを行うことにより、ガス・溶接・切断の一体販売を目的としたPRを実施し、受注につなげることができました。また、5月にKOIKEテクノセンターにて開催した「2016ステンレスプライベートフェア」に、新型のステンレス用ドリルを搭載したプラズマ切断機を出展し、多くの顧客から高い評価を得ることができました。さらに、6月に福岡で開催した「九州こいけ市」では、ポータブルNC切断機などを出展し、好評を得ることができました。

海外においては、中国の造船所からの大型案件について受注を獲得することができました。また、アジア向けに海外現地法人にて製造したNC切断機の拡販活動を行い、多くの受注を獲得することができました。しかしながら、造船業界や建設機械・鉱山機械業界での市況の低迷により、厳しい状況で推移しました。

生産面においては、期初に一時的に減少も見られたものの、その後回復し、生産量を確保することができました。また、生産効率の向上に向けて標準機生産体制の整備に取り組みました。さらに、ファイバーレーザー切断機やプラズマ切断機の開発を推進し、さらなる性能向上に努めました。

その結果、売上高は44億31百万円(前年同期比3.3%減)、セグメント利益は2億47百万円(同22.1%減)となりました。

#### 高圧ガス

高圧ガス部門においては、「2016国際ウエルディングショー」に溶接の高品質化・効率向上・コスト低減に寄与する「スーパーシールド」やガス現地混合システム「KSミキサー」を出展し、新規顧客獲得に向けたPRを積極的に行いました。また、ガス・溶接・切断の一体販売に向けた体制の強化を行い、切断・溶接装置の販売に伴う新規ガス獲得活動を推進しました。しかしながら、鉄鋼・建築・建機関係の低迷に伴い、酸素・窒素などの主要ガスの販売量は減少しました。

生産面においては、ガス製造工場において安全基準の見直しや設備のメンテナンスおよび更新を行い、保安確保・安定供給・品質確保・原価低減に努めました。

医療分野においては、営業活動の強化によりCPAP(持続陽圧呼吸器)のレンタル契約を伸ばすことができました。また、酸素濃縮器の販売については更新需要が旺盛だったことにより、昨年を上回る実績となりましたが、レンタルについては契約単価の下落により低迷しました。

その結果、売上高は37億47百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は2億7百万円(同14.6%減)となりました。

#### 溶接機材

溶接機材部門においては、「2016国際ウエルディングショー」において、小型の溶接機および切断機の実演や安全保護具のPRを行うとともに、原価を大幅に低減させた新型マグネット「PLSシリーズ」を出展しました。また、輸入商材である金属補修材の営業活動の強化や取扱商材の拡充を行うとともに、「九州こいけ市」に溶接用液晶保護面および安全器商品を中心に出展し、拡販に取り組みました。

しかしながら、主需要先である建築・鉄骨向けの各種工事の遅れや建設機械・自動車向けの需要に減少が見られたことにより販売量は低迷しました。

その結果、売上高は19億97百万円(前年同期比9.0%減)、セグメント利益は40百万円(同27.0%減)となりました。

その他

その他の部門においては、ヘリウム関連機器の受注を確保するとともに、設備更新需要に対応すべく積極的に営業活動を行いました。

排ガス処理装置においては、中国でのディスプレイ工場からの引き合い増加に対応するため、現地への駐在員派遣に向けた取り組みを進めるなど営業活動の強化に努めました。

その結果、売上高は1億5百万円（前年同期比115.9%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は528億34百万円で、前連結会計年度末比24億10百万円の減少となりました。

流動資産合計は303億50百万円で、前連結会計年度末比19億37百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が1億86百万円減少、受取手形及び売掛金が13億23百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は224億83百万円で、前連結会計年度末比4億72百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が2億65百万円減少したことによるものです。

## (負債)

流動負債合計は186億88百万円で、前連結会計年度末比14億20百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が7億31百万円減少、未払法人税等が4億49百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は55億7百万円で、前連結会計年度末比2億26百万円の減少となりました。これは主に長期借入金70百万円減少、主に繰延税金負債が1億27百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

純資産合計は286億38百万円で、前連結会計年度末比7億62百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億87百万円減少、為替換算調整勘定が4億13百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は50.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成28年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 ②次期（平成29年3月期）の見通しを参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,425	9,239
受取手形及び売掛金	13,809	12,486
商品及び製品	4,579	4,619
仕掛品	1,568	1,422
原材料及び貯蔵品	1,872	1,676
その他	1,255	1,105
貸倒引当金	△222	△199
流動資産合計	32,288	30,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,139	3,998
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,418
工具、器具及び備品(純額)	436	377
土地	10,177	10,167
リース資産(純額)	1,110	1,193
建設仮勘定	216	195
有形固定資産合計	17,617	17,352
無形固定資産		
のれん	32	28
リース資産	14	16
その他	241	240
無形固定資産合計	287	285
投資その他の資産	5,051	4,845
固定資産合計	22,956	22,483
資産合計	55,244	52,834

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,450	6,718
電子記録債務	3,560	3,738
短期借入金	3,757	3,558
1年内返済予定の長期借入金	1,070	967
1年内償還予定の社債	20	20
未払法人税等	580	130
賞与引当金	565	510
役員賞与引当金	75	15
受注損失引当金	12	18
製品保証引当金	75	71
関係会社整理損失引当金	1	—
その他	2,940	2,939
流動負債合計	20,109	18,688
固定負債		
長期借入金	1,159	1,088
役員退職慰労引当金	212	159
退職給付に係る負債	141	149
資産除去債務	14	14
その他	4,205	4,094
固定負債合計	5,733	5,507
負債合計	25,843	24,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,354
利益剰余金	18,595	18,460
自己株式	△917	△917
株主資本合計	24,063	23,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996	808
繰延ヘッジ損益	—	2
土地再評価差額金	1,272	1,272
為替換算調整勘定	989	575
退職給付に係る調整累計額	100	98
その他の包括利益累計額合計	3,358	2,757
非支配株主持分	1,980	1,955
純資産合計	29,401	28,638
負債純資産合計	55,244	52,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	10,606	10,281
売上原価	7,727	7,487
売上総利益	2,879	2,794
販売費及び一般管理費	2,514	2,488
営業利益	364	305
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	32	37
受取賃貸料	29	39
持分法による投資利益	7	6
物品売却益	9	5
為替差益	—	9
貸倒引当金戻入額	32	40
その他	11	14
営業外収益合計	129	157
営業外費用		
支払利息	28	25
賃貸費用	7	12
為替差損	218	—
その他	8	8
営業外費用合計	262	47
経常利益	231	415
特別利益		
固定資産売却益	42	15
特別利益合計	42	15
特別損失		
固定資産除売却損	14	1
その他	—	0
特別損失合計	14	1
税金等調整前四半期純利益	259	430
法人税、住民税及び事業税	191	92
法人税等調整額	△96	65
法人税等合計	94	158
四半期純利益	165	272
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	116	236

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	165	272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△186
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	39	△451
退職給付に係る調整額	△9	△2
その他の包括利益合計	67	△638
四半期包括利益	232	△366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	△365
非支配株主に係る四半期包括利益	48	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,583	3,778	2,194	10,557	48	10,606	—	10,606
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,583	3,778	2,194	10,557	48	10,606	—	10,606
セグメント利益 又は損失(△)	317	242	55	615	△14	601	△236	364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△236百万円には、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△255百万円及びたな卸資産の調整額△10百万円、その他の調整額34百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,431	3,747	1,997	10,176	105	10,281	—	10,281
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,431	3,747	1,997	10,176	105	10,281	—	10,281
セグメント利益	247	207	40	495	0	496	△190	305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円、たな卸資産の調整額43百万円及びその他の調整額31百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,792	88.0
高压ガス (百万円)	98	113.2
報告セグメント計 (百万円)	3,891	88.5
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	3,891	88.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	3,280	85.9	4,821	73.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	4,431	96.7
高压ガス (百万円)	3,747	99.2
溶接機材 (百万円)	1,997	91.0
報告セグメント計 (百万円)	10,176	96.4
その他 (百万円)	105	215.9
合計 (百万円)	10,281	96.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。